

岐阜県家庭教育学級実践事例

体験活動参加型+講演会型+在宅取組型(こども園)

園 名	海津市立高須認定こども園
実 施 日 時	令和6年7月3日(水)9時40分~11時
会 場	遊戯室
参 加 人 数	全園児39名・保護者35名 職員14名
学習課題(分野)	「音に親しむ会」(自立心・家族の大切さ)
運営者の願い	最近では小さな子お子さんでもテレビやタブレットで音楽を聴いたり踊ったりできる。その中で、音を聞くだけでなく、自分の体で音を作って楽しむことができることを知ってほしいと思い、企画した。

学 習 の 内 容

<取り組み方法・内容>

- ・ 全園児・全保護者が一緒にペアになる。
(保護者がお休みの園児には先生のフォローをお願いした。)
 - ・ 曲に合わせて親子で体表現をする。
(手・顔・腕・足など体が楽器の代わりに叩く。親子で交互に叩いてもよい。)
☆ 曲目 ♪かたつくり ♪きらきら星 ♪ドラえもん
- ※ 「お家でもできる遊びなので、これなかったお母さんお父さん、兄弟、お祖父母の方と一緒に楽しんでみてください。」と伝えた。

<取り組みの様子>

親子でペアになり、音楽に合わせて触れ合ったり踊ったりして楽しんだ。



「一緒にやろう!」子どもから声をかけていました。笑顔いっぱいの表情が見られました。

子どもが思い切り楽しんでいる様子に保護者の方も笑みを浮かべていました。



<参加者の声>

- ・ 子どもはYouTubeを見て一人で音楽を聴いて歌ったり、踊ったりしていますが、親子で一緒に体で触れ合ったり踊ったりする機会がありませんでした。今日は、久しぶりに親子で、体で触れ合ったり音楽に親しむことができました。子どもが大きくなるとなかなか親子で触れ合う機会が少なくなります。今日のような機会があることで、親子共々楽しむことができました。子どもが知っている曲を聴き、お家でも一緒に楽しめるようにしていきたいと思いました。



親子でふれあう時間を

日頃ちょっとした時間に子どもが口ずさんでいる歌に耳を傾け、お家の方も一緒に歌ったり、体で触れ合ったりして楽しめた。笑顔が増え、みんなが楽しそうに体を動かしていた。親子で触れ合う時間が少ない中、新しいふれあいができ、心身共にリフレッシュしてほしいと思う。